

ワクチン生産体制等緊急整備事業における 新型コロナウイルスワクチンの開発・国内生産体制の支援・進捗状況

- ワクチン生産体制等緊急整備事業は、国内において、新型コロナウイルスワクチンを始めとしたバイオ医薬品の実生産（大規模生産）体制の早期構築を図るための事業であり、新型コロナウイルスワクチンの国内における早期供給を促すものである。

2025年9月末時点

採択企業	シーズ	モダリティ	公募※1		主な成果・進捗		交付 基準額 ※2
			生産	臨床	薬事承認	主な開発状況の進捗・その他	
武田薬品	海外	組換えタンパク	○	—	起源株・変異株	第Ⅰ/Ⅱ相試験(2021年2月)※3 2025/26シーズン定期接種に用いるワクチンに位置づけ	315.1 億円
第一三共	国内	mRNA	○	○	起源株・変異株	第Ⅰ/Ⅱ相試験(2021年3月)※3 2025/26シーズン定期接種に用いるワクチンに位置づけ	603.0 億円
塩野義製薬	国内	組換えタンパク	○	○	起源株	第Ⅰ/Ⅱ相試験(2020年12月)※3 ブースター用第Ⅲ相試験を開始（オミクロン株JN.1系統対応、2025年3月）	551.2 億円
K Mバイオロジクス	国内	不活化	○	○		第Ⅰ/Ⅱ相試験(2021年3月)※3、第Ⅱ/Ⅲ相試験(2021年10月)、第Ⅲ相試験(2022年4月)、小児用第Ⅱ/Ⅲ相試験(2022年4月)、小児用第Ⅲ相試験(2023年1月)、小児第Ⅲ相試験を開始（オミクロン株XBB.1.5対応、2023年12月）（オミクロン株JN.1対応、2025年4月）	447.5 億円
VLP Therapeutics Japan	国内	mRNA (レプリコン)	○	○		第Ⅰ相試験(2021年10月)※3、ブースター用試験(2022年2月)※3、ブースター用第Ⅱ相試験(2022年9月)※3、ブースター用第Ⅰ/Ⅱ相試験（変異株対応）(2023年4月)、ブースター用第Ⅲ相試験（オミクロン株XBB.1.5系統対応）(2023年12月)、ブースター用第Ⅲ相試験（オミクロン株JN.1系統対応）を開始（2025年4月）	358.9 億円
Meiji Seika ファルマ	国内	mRNA (レプリコン)	—	○	起源株・変異株	ブースター用第Ⅲ相試験(2022年12月) 2025/26シーズン定期接種に用いるワクチンに位置づけ 小児第Ⅲ相試験を開始（オミクロン株JN.1系統対応、2024年10月）（オミクロン株XEC対応、2025年9月）	73.3 億円
アストラゼネカ	海外	ウイルスベクター	○	—	起源株	承認整理（2024年5月）	162.3 億円
アンジェス	国内	DNA	○	○		開発中止（2022年9月）	93.8 億円

※1 生産：国内生産施設・設備の整備経費、臨床：大規模臨床試験等の実施経費

※2 ワクチン生産体制等緊急整備事業に基づく交付基準額を記載（2025年3月末時点）

※3 AMEDワクチン開発推進事業において支援